

本庁舎防火シャッター危害防止装置設置修繕 仕様書

本仕様書は、相模原市役所本庁舎に設置されている防火シャッターへの危害防止装置の設置修繕について規定するものである。

1 修繕概要

防火シャッター危害防止装置の設置作業を行い、設備の保全をはかる。

交換対象は、各所防火シャッター設備内、危害防止装置及びこれらに関するもの。

交換部分は別紙図面のとおりとする。

2 修繕場所

相模原市中央区中央 2-11-15 相模原市役所本館・第1別館・第2別館各所

3 作業上の注意事項

- (1) 危害防止装置の設置場所は、別紙図面のとおりとするが、交換作業を行う上で必要となる金具・ネジや端子等の部材や消耗品等は、受注者で負担すること。(更新部座間の電気配線及び端子は更新すること。)なお、電気配線は、可動部と接しないように取付、整理するとともに、作業後に不要となった電気配線等は、できるだけ撤去を行う。
- (2) 交換部材は、現行機器スペース内に適切な取付金具等で強固に収めるものとする。作業は、高所かつ重量物を扱うことから作業方法・手順については、予め十分な検討と準備を行うこと。特に安全面に遺憾のないように行うこと。
- (3) 動作確認・調整は、チェック表を作成し確実に行うこと。チェック表については、内容・書式は任意とするが、特に危害防止装置の機能確認には留意すること。また、絶縁抵抗、電気特性(電圧・電流)等の測定結果も付記するとともに報告書としてまとめ提出すること。
- (4) アスベスト対策として、天井フレキシブルボード塗装面等(レベル3相当)の孔開などアスベストの飛散が想定される作業を行う場合には、関係法令の規定に防護対策を講じること。また、作業中にアスベスト(レベル1相当)の含有が疑われる箇所を新たに発見した場合、すみやかに作業を中止し、アスベストの飛散がしないように現場を保存するとともに、発注者に報告し、今後の遂行について協議するものとする。
- (5) 作業日時、具体的な実施方法は、予め施工計画書を提出し、発注者と調整の上、決定すること。原則、土日、祝日の閉庁日に作業を行うこと。安全等に支障が発生しないように注意すること。なお、資材置き場等については、別途協議するものとする。
- (6) 作業に当たっては、周囲の状況に気を配り、職員等の通行の妨げにならないよう、十分注意すること。
- (7) 作業の実施にあたり、物品等を移動した時は発注者の指示がない限り、元の位置に

戻すこと。

- (8) 修繕の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を十分に理解して遵守するとともに、円滑な追行を図ること。
- (9) 本修繕に起因すると思われる不具合等については速やかに解決を図ること。
- (10) 撤去品等については、受注者が責任をもって関係法令に従い適正に処理すること。

4 経費の負担

- (1) 作業に要する道具はすべて受注者が用意するものとする。
- (2) 作業に必要な電気及びガスの使用料は発注者の負担とする
- (3) 受注者は電気及びガスの使用については極力節減し、効率的に作業を行わなければならない。

5 完了届等の提出

業務完了後に、「完了届」(1部)を成果品として「作業開始前(交換品単体を含む)、作業中及び作業完了後の写真」を添えて発注者へ提出すること。